

【授業改善推進プラン】

令和6年度学力向上を図るための全体計画

教育目標

- 1 自分で考え進んで実践する人間
- 2 公共心に富み情操豊かな人間
- 3 勤労を尊び責任を重んじる人間
- 4 健康でたくましい人間

【学校像】安全、安心で、挨拶と笑顔があふれ、生徒、教職員、保護者、地域で創り上げるチーム学校

【生徒像】自信と誇りをもち、仲間を大切にし、社会に貢献する生徒

【教師像】率先して正しい姿を示し、生徒に寄り添い、共に成長し、よりよい教育を求め続ける教師

【各教科の指導の重点】

- ・生徒の関心、意欲を高める教材の精選
- ・体験的な学習、課題解決型学習の推進
- ・少人数・習熟度別指導による指導工夫改善

【総合的な学習の時間の指導の重点】

- ・自己の生き方を見付ける学習の充実
- ・共生社会の実現に必要な資質能力の育成
- ・SDGsの創り手となるための能力の育成

【進路学習の指導の重点】

- ・「キャリア・パスポート」の活用
- ・自己実現を目標とするキャリア教育充実
- ・職業に係わる体験的な学習の充実
- ・最新で正確な進路指導資料の整備、提供

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

基礎学力の定着と望ましい学習習慣の形成を図る。主体的・対話的で深い学びの実現のために指導方法の工夫、改善を図り、習得した知識・技能を活用する学習活動の充実を図る。

本校における「確かな学力」の定着

【確かな学力の考え方】

- 1 主体的な学びにより、学習習慣、読書習慣の定着を図る。
- 2 反復学習などを通して、知識・技能といった基礎学力の定着を図る。

【学力向上への取組】

- 1 学力調査等の結果を分析し、学習理解の把握と的確な授業改善を図る。
- 2 主体的に学び、解決しようとする力の育成とICTを活用した学習の充実を図る。
- 3 身に付けた知識・技能を活用し、思考・判断・表現につなげる力の育成を図る。

【道徳教育の指導の重点】

- ・道徳的な判断力、心情、実践力等の育成
- ・ローテーション道徳による授業力向上
- ・道徳授業充実による自尊感情、学級力向上

【特別活動の指導の重点】

- ・主体的な学級づくりによる学級力の向上
- ・「自発的・自治的」生徒会活動の推進
- ・構成的グループエンカウンターを活用

【生活指導での指導重点】

- ・不登校支援の充実、いじめ未然防止の徹底
- ・基本的生活習慣「四中スタンダード」確立
- ・情報モラルの向上、危機回避能力の育成



本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	ICT活用の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」の明示と「振り返り」のある授業 ・「主体的・対話的」な活動を取り入れた授業 ・数学の習熟度別授業、英語の少人数授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の充実 ・校内委員会を核とした特別支援教育の推進 ・放課後学習教室及び長期休業中の補充教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業及び授業見学の実施 ・「小・中連携」に基づく、学力向上に向けた取組 ・学力調査の結果を活用した生徒の把握と課題の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「指導と評価の一体化」についての研修会の実施 ・年2回保護者の学校評価、生徒の授業評価等の活用 ・学習シラバス及びルーブリックの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営協力者会議、PTA、子ども家庭支援センター等との確かな連携 ・学校だより、学校HPの活用による最新情報の発信 ・地域教育コーディネーターや学生による放課後学習教室の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業の推進、及び、学習者用端末の積極的な活用 ・情報モラル、情報リテラシーの育成 ・登校できない生徒への授業配信等の学習支援